

平成 25 年 4 月 15 日発行

ゆきつばき通信

第 156 号

大町山岳博物館友の会



友の会が変わります・山博に行こう

大町山岳博物館友の会会長
宮澤 洋介

あと 2 年会長を務めることになりました。気持ちをちょっとリニューアルして一言述べます。

私の友の会は「山博を通じて北アルプスやその周辺の自然や文化と人々の生活の魅力に感動し、さらにこれらを深く探求することに喜びを感じる」をモットーに活動してきました。表立っては企画した行事への参加や山博事業のサポート活動などですが、その中での山博との交流や会員相互の出会いは人生の宝です。このことはこれからも同じです。

友の会は現在 314 名（2013 年 3 月）の個人、ファミリー、学生、団体の会員がいます。近年は退会会員に比べて新入会員が少なく、会費収入は最盛期の半分に陥り、会の運営にも支障をきたすようになってきました。世の中の趣向の変化、景気の低迷などで博物館へなかなか足を運ばない。また、会員の高齢化とともに子供（の参加）が少ない。近年は行事への参加者が少なくなり、参加するメンバーが同じ。など内外面から様々な問題が出てきました。

今年度から変わります。事業を山博と共催にし、山博の学芸員や専門家に講師にな



っていただきます。山博と友の会の予算を用いることにより、より充実した双方にメリットのあるものにします。共催ですので参加者は一般と友の会と半々にし、事業を家族向けとすることで一般からの新規会員の獲得も期待されます。参加費も格安ですが、会員はさらに大幅に優遇されます。事業ごとに講師及び学芸

員・友の会会員各 2～3 名が担当スタッフとなり、十分な下見や資料調査を行い、極めて魅力的な内容にします。山博友の会でなければできない事業としますので楽しみにしてください。

山博に行こう。「ミュージアムカフェこまくさ」は 10 月まで営業します。掘り出しものを揃えています。新たな会員証は今年度から導入したポイントラリー仕様になっていますので何回も足を運びましょう。秋には山博の 1 階と 2 階の地学スペースが改装に入り、来春にリニューアルオープンします。

問題の打開よりは、新たな目標に向かっての楽しい友の会にしようではありませんか。

報 告

【冬の自然観察会】「カンジキを履いて、動物達の森を歩いてみよう！（パート2）」

2 月 3 日 森のくらしの郷付近 参加者 17 人

朝重孝治

昨年から始まった企画の 2 回目です。9:00 から 15:00 まで、千年の森自然学校の森をゆっくり歩きながら、ニホンカモシカの糞や食痕、雪上に残された足跡などを手掛かりに、彼らの生活の様子を感じ取ろうという、ハイキングに行ってきました。

昨年は、カモシカにもゆっくり会えて、よかったのですが、今回は、出発直後に、後ろを横



切り驚いたカモシカに逃げられてしまうという不運なハプニングから始まりました。

幸いにして、たくさんの生活痕から彼らの様子を想像したり、新しい足跡を追って見たりと、ワクワクドキドキのハイキングを堪能しました。結局、その後はカモシカには会えませんでした。景色や、冬芽なども楽しみながらの、1 日となりました。

友の会 作品展

友の会活動での制作物、写真、書などをもち寄り、2月17日（日）より3月31日（日）まで売店・喫茶こまくさで実施されました。友の会や会員の活動を広く知っていただく機会となりました。



総会と総会記念講演会

3月10日 参加者 26人

平成25年度の総会および記念講演会が大町公民館分室・学習室で行われました。

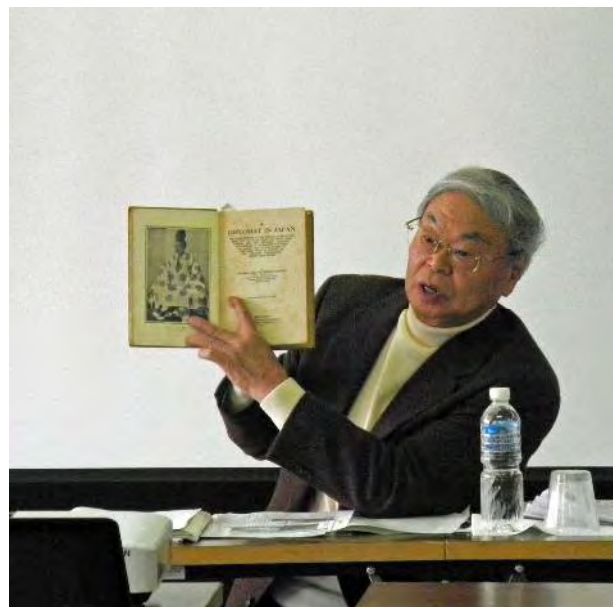
記念講演会（山博共催）

「アーネスト・サトウと武田久吉」

金子靖夫先生（日本マス・コミュニケーション学会会員）

NHK報道部や海外特派員を務められたのち、富山国際大学で教鞭をとられたという経歴を持たれる金子先生は、その景色に魅せられて8年前より白馬村にお住まいです。今回は幕末から明治期に日本に来た英国の外交官であるアーネスト・サトウとその次男で日本山岳会を創設した植物学者・武田久吉についてお話しいただきました。

アーネスト・メーソン・サトウの祖先は北欧系の移民で、姓はドイツ Satow（ザトー）村に居住していたことからきています。ロンドン大学在学中にローレンス・オリファントの「エルギン伯爵の中国・日本使節記」（2週間の滞在で日本を「東洋の桃源郷」と書いている）によって日本にひかれ、通訳試験に合格して1862（文久2）年、19歳の時に横浜の英国公使館に着任しています。この時サトウは日本語はほとんどわからなかったようですが、その後天才ぶりを発揮し日本語を習得していくことになります。





アーネスト・サトウは初の英文の日本旅行ガイド「中部・北部日本旅行案内 A Handbook for Travellers in Central and Northern Japan 1881」を著しています。その中では池田・大町も訪ねており、今回の講演はそのお話を軸に時代背景や、アーネスト・サトウの存在がのちのち日本にとって大変有益だったことなどをお話いただきました。

来日当時は攘夷の嵐が吹き荒れる時代で、サトウが横浜に着いた一週間後には生麦事件が起こっており、サトウ自身2年後にはその賠償交渉に当たっています。サトウの交渉能力は素晴らしく、それはサトウの天才的な日本語習得力にもよったようです。日本語を知らずに英国を出たサトウは中国で少し漢字を覚えたようですが、来日3年で日本語の読み書き（当時の日本語は毛筆候文）ができ薩長と交渉することができたようです（通訳としては日本語<->オランダ語<->英語となっていた）。エピソードの一つとして、来日6年目の慶応2年、英国公使と徳川慶喜が大坂城で会見したときに通訳として同席し、この時贈られた三十六歌仙額の「難波潟 みじかき芦の ふしのまも あはでこの世を 過ぐしてよとや(伊勢)」を読んで説明ができたということです。

サトウの、日本語に限らず日本の情報の収集は、庶民を含めた多くの日本人に会うことによって得られているようです。また、表向きではなくしっかりと日本を見据えて記述した著作は、のちのち日本の貴重な史料ともなっています。徳川幕府と帝の関係の矛盾を突き、諸外国が幕府と交渉してもなかなかはかどらないのは真の支配者として帝があることなどを述べています。（「一外交官の見た明治維新」（岩波文庫 坂田精一訳）・「遠い崖——アーネスト・サトウ日記抄（全14巻）」（朝日新聞社 萩原延寿著）等で読むことができます）

「中部・北部日本旅行案内 A Handbook for Travellers in Central and Northern Japan 1881」の執筆に当たっては、サトウは海軍省に勤務していたアルバート・ホーズとともに手分けして別ルートで池田・大町を訪ね、針ノ木峠から立山温泉に抜けています。大町の様子については、大通りに一本の川が流れていて家々の屋根には石が載せられている、旅館や休憩所は立派ではない、大町の特産物として米、生糸、麻、などと記載しています。外国人が来た（池田では初）ということで大騒ぎになった様子なども日記からうかがえます。大町では庄屋飯島家に泊まり、飯島善造がガイドしたということです（講演の後の質疑の中から）。

アーネスト・サトウは武田兼を妻とし、次男に武田久吉があります。世界を飛び回るサトウはときどき来日着任し子供たちにも影響を与えています。ウェストンの勧めで日本山岳会を創設した久吉は、サトウに呼ばれて英国に留学し植物学を学びました。英国のロイヤルボタニカルガーデン（王立植物園）には、植民地時代に世界中の植物

が集められています。

武田久吉は電力開発計画のあった尾瀬の保全に努めた人でもあり、ウェストン祭も開催しています。

最後にスライドで関連写真を見せていただき講演を振り返りました。先生はアーネスト・サトウは日本に舞い下りたコウノトリのようであり、この時代に日本に来てもらえたことは日本にとってまことに幸運であった、求めても求められるものではないのが、アーネスト・サトウと武田久吉父子であるとお話されました。

(編集部 記)

総会報告

講演会に続いて友の会総会が 26 名の出席で行われました。栗林氏を議長に選出し、報告・計画に対してすべて承認されました。

今年度事業は博物館との共催となり、市民参加も広く募集されます。回数は整理されながらも充実したものになると期待されます。また、市民にも友の会の活動を広く知ってもらえる機会になり、友の会に入る特典（参加費用の相違等）も知ってもらえると思います。



清水副館長からは友の会の博物館への協力へのお礼と、博物館と友の会が親密な関係のもと、お互いに向上していきたい旨ごあいさついただきました。宮澤会長の開会あいさつ、長沢顧問の講評ごあいさつにも博物館との積極的な協働や若い人へのアピールの必要性が訴えられました。

(質疑) 烏帽子山行への一般会員の参加について・会員証について

平成 25 年度の行事予定 (いずれも博物館共催)

○古道塩の道を歩く 佐野坂峠越え 白馬から大町へ (2 頁の案内を参照ください)

実施日時：平成 25 年 6 月 16 日 (日) 午前 7 時—午後 4 時

○宮野典夫館長といく 親子でライチョウ観察ツアー (親子限定企画)

実施日時：平成 25 年 8 月 4 日 (日) 午前 6 時 30 分—午後 4 時

大町市の鳥でもあるライチョウについて、長年研究をしてきた宮野典夫市立大町山岳博物館館長と立山室堂の大自然のなかで、いっしょにライチョウを観察します。

○小坂共栄専門員といく 糸魚川世界ジオパーク探検ツアー (親子限定企画)

実施日時：平成 25 年 10 月 14 日 (日) 午前 6 時 30 分—午後 5 時

信州大学山岳科学総合研究所特任教授・信州大学名誉教授でもある小坂共栄山岳博物館専門員といっしょにフォッサマグナを舞台に糸魚川世界ジオパークをめぐる。

〇さんぱく座談会—もうすぐリニューアルオープン！

実施日時：平成 26 年 3 月 9 日（日） 午前 1 時 30 分～3 時 30 分

平成 26 年春のリニューアル・オープンに先がけ、新展示の見所を説明します。友の会活動発表の後で、ワールドカフェ方式(*)による座談会で、参加者全員で地域博物館の将来像を語り合います。

* ワールド・カフェ方式とは、カフェのようなゆったりした雰囲気の中で、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、また、他のテーブルのメンバーとシャッフルして対話を続け、参加する全員の意見や知識を集める会議の方法です。

平成 25-26 年度友の会役員

友の会役員は以下のように決まりました。

会 長 宮澤洋介
副会長 西沢泰夫 有川美保子
運営部 川崎晃（部長） 宮田京子（副部長） 有川美保子 栗林 稔
塩瀬淳也 関 悟志 高野淳子 朝重孝治 中畑清貴 西沢泰夫
松井啓子 丸山優子 横沢裕美
編集部 丸山卓哉（部長） 五十川 渡 峯村 隆 宮澤洋介
こまくさ 仙波美代子 川崎祐子（アドバイザー）
監 査 越山頼子 瀬戸口三恵子

平成 25-26 年度事務局員

千葉悟志（主務） 宮野典夫 清水博文 清水隆寿 関 悟志 小坂共栄

顧 問 千葉彬司 長沢正彦

お知らせ ☆ ご案内

平成 25 年度会費納入のお願い

新年度が始まりました。事務処理が長引かないよう、遅くとも 5 月末までにお納めくださいますようお願いいたします。

郵便局の振込取扱票で下記の口座番号にお振込みください（手数料 120 円がかかります）。喫茶売店「こまくさ」でも受け付けております。「こまくさ」閉店時は博物館窓口までどうぞ！

友の会の運営は皆様の会費のみで成り立っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

郵便振替口座番号 00550-2-24194 加入者名 山博友の会
個人会員 3500 円 ファミリー会員 4000 円

会員証とポイントカードについて

- ・参加するには友の会会員であることが条件となります。
- ・年度初めに、会員に対してポイントラリー券を個人に 1 枚、ファミリーには代表者

に1枚を配布します。

- ・博物館へ来館ごとに一日、1個のスタンプを押印します。集めたポイント数により、お好きな特典と交換することができます。
- ・ファミリー会員の場合は登録している方であれば、どなたでも使用することができますが、押印は1日1個となります。
- ・ポイントラリー券の配布は、年間1枚とします。
- ・有効期限は、県内者は1年間としますが、県外者は1回限り、翌年度へ持ち越すことができます。

ポイントラリーの景品（予定）

① 3階展望室望遠鏡無料券（県内・県外：1個）

博物館3階の望遠鏡（100円）を無料で北アルプスや大町市街の眺望をお楽しみいただくことができます。（平成25年10月末日まで）

② 企画展解説書割引券（県内3個：県外2個）

開催中あるいは過去に博物館が刊行した企画展解説書と交換することができます。会員通常割引率20%が50%となります。

③ 友の会催し物への参加割引券（県内3個：県外2個）

会員参加費からさらに500円引きでご参加いただけます。

参加費が1,000円未満の場合は、参加費の金額分が適応されます。差引残額次回の適応、現金での返金などはございません。

④ ミュージアムカフェ「こまくさ」のドリンク割引券（県内3個：県外2個）

ミュージアムカフェのお好きなドリンクを割引価格で提供します。

「こまくさ」より、ごあいさつ

年々早くなる桜の開花予想の日16日に今期のオープンをいたします。その名もミュージアムショップ&カフェ「こまくさ」として心機一転と思っていた矢先、諸般の事情により、友の会として今期で運営から撤退することになりました。会員の皆様の応援に支えていただきながら、なんとか7年目を迎えることができました。私にとっても人生最後の職場として、これからの7ヶ月間、精一杯、ズクを振り絞って勤めて参ります。11月4日まで、岩にしがみついても（ア、山じゃなかった）頑張る所存ですので、「こまくさ」に一回でも多く足を運んでいただけたら嬉しく思います。

仙波 美代子

ボランティアサークル便り

平成25年度の大町山岳博物館友の会のボランティア活動予定は以下のようになっています。

1. ボランティア内容

- (1) 園内除草（湿原植物園を含む） 月1回
- (2) サクラソウ駅前栽培展示 5月6日（日）～26日（日）
- (3) 館内説明 4月27日（土）～29日（月、祝）。

5月3日（金，祝）～5日（日）

（4）展示改修に伴う資料搬出・搬入 11月5日（水）～3月上・中旬

2. 活動日時・内容

4月

21日（日） 午後1時～3時30分 湿原植物園の整備と2階テラスの清掃 サクラソウポット内の除草

27日（土）～29日（月，祝） 午前9時30分～午後4時00分 館内説明

5月

3日（金，祝）～5日（日） 午前9時30分～午後4時00分 館内説明

6日（月） 午前9時30分～ サクラソウ移動（博物館→駅へ）

26日（日） 午前9時30分～ サクラソウ移動（駅→博物館へ） 2階テラスの植物植え込み（植物種類要検討）

6月

23日（日） 午後1時30分～ 湿原植物園及び付属園内の除草 2階テラスの清掃

7月

21日（日） 午前9時30分～ 湿原植物園及び付属園内の除草 2階テラスの清掃

8月

18日（日） 午後2時30分～ 湿原植物園及び付属園内の除草 2階テラスの清掃

9月

15日（日） 午前9時30分～ 湿原植物園及び付属園内の除草 2階テラスの清掃

10月

20日（日） 午後2時30分～ 湿原植物園及び付属園内の除草 2階テラスの清掃

ボランティアに関心、興味のある方を随時募集しています。初めて参加される方は事前に博物館まで申し出てください。ボランティア保険に加入手続きを取ってから参加していただくようになっています。

事務局担当：有川美保子

ゆきつばき通信編集室より _____

少し期間があきました。2013年度のゆきつばき通信です。今年は、各行事に合わせて4回発行する予定です。

総会報告などにありますように少し様変わりする今年の友の会です。行事には会員から一般市民の皆さんにぜひお声掛けをいただき、友の会をご紹介いただきたいと思います。

このweb版では別ページで閲覧できる友の会事業と博物館事業は省略し、写真を増やしました。
(丸山卓哉)

友の会事業（博物館との共催になります）、博物館事業のご案内については、それぞれのページをご覧ください。

ゆきつばき通信 第156号

発行／大町山岳博物館友の会 平成25年4月15日

〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1

大町山岳博物館内 山博友の会事務局 Tel/Fax 0261-23-6334

会費振替口座番号 00550-2-24194 加入者名 山博友の会